

とままえ

1

No. 665



風かおる
人が輝き
躍動するまち



まちひと百景

全国17,663作品の頂点に！

東京の洋菓子メーカー銀座コージーコーナー「夢のクリスマスケーキコンテスト」に応募した古丹別在住の平野愛実ちゃんの作品が全国17,663作品の最高位となるグランプリを獲得した。

右の写真は12月4日（日）東京で行われた受賞式の際に応募した作品のイラストが額に入った記念品として贈呈されたもので、贈呈式の際には女優の土屋太鳳さんからも「おめでとう」のことばと記念撮影をおこない、愛実ちゃんは一生忘れることのない思い出となったようだ。

- 森町長新年あいさつ… 2
- 阿部議長新年あいさつ… 3
- 町内保育所お遊戯会ほか… 4
- 苫前保育園もちつき大会ほか… 5
- 健康ばんざい… 6
- 国民健康保険ガイド… 7
- 国民年金… 8
- 学びの広場… 9
- 人事行政の運営等の状況… 10～12
- 住まいる情報… 13
- ちびっこギャラリー… 14

まちの人口

人口/3,246人 (男/1,549人：女/1,697人)
世帯数/1,573世帯 (11月30日現在)

希望があふれ 輝くマチ



苫前町長 森 利 男

新年明けましておめでとうござ
います。

皆様におかれましてはお健やか
に輝かしい新春をお迎えのことと
存じ、心からお慶び申し上げます。
日頃から本町発展のためにそれ
ぞれのお立場でご活躍をいただ
き、ご指導ご支援を賜り厚くお礼
申しあげます。

さて、日本経済の再生や地方の
再生については、今後さらに最重
点項目とし、景気回復や社会保障
の充実等を中心に進めてほしいと
願っています。一方でT P P問
題、消費税問題、人口減少や高齢
化問題など日本は様々な課題に直
面しており、こうした課題は自治
体運営にも大きく影響を及ぼすも
のとして早急な対応が求められる
ところでもあります。更には年金・
医療等含め住民生活に直接関係す
る項目についても減額や引き上げ
が重くのしかかってきている状況
にあります。

このような変革期の中で時代を
先取りし、町民との「協働」を大
切にした新しい時代にあった夢と
志を実現するため、本町のまちづ
くりについて町民力、地域力を発
揮し、防災対策も含め住民が安心
して楽しく暮らせる豊かな地域社
会と、まちの個性を生かした多様
性と創造性にあふれる社会の実現
に向けて、積極的に取り組んでい
くこととしています。

これからは特に地域社会の最前
線で住民サービスを担う市町村の
役割と責任は、益々重要になって
きているものと思っています。

まちづくりの原則は「自分たち
のまちは自分たちでつくる」こと
で、これからの時代は市町村が日
本を支える存在価値を持つことで
あり、従って今まで以上に民間活
力の感覚を生かしながら行政改革
や財政改革を進め、まちの経営体
制を整えているところでありま
す。

昨年は、財政の健全化をはかり
ながら穀類乾燥調製施設や苫前保
育園新園舎の建設など大型の整備
事業が続き、本年1月からは苫前
小学校が供用を開始するなど、ま
ちの産業振興や福祉、教育環境は
着々と充実してきております。ま
た、人口を増やす施策としてしま
しては、定住促進、結婚サポート、出
産・子育て支援、住環境整備支援
やにこにこタクシーを含めた高齢
者の生きがい支援などのほか、町
民の皆様と協働して知恵を出し合
い、ユニークな取り組みを打ち出
し、更に充実したものにしてい
く事としています。

さらには、国内最大級の風力発
電量を有しており、本町の夏の2
大イベントであります「北海道風
車まつり」も第13回を数え、「北
海道風上げ大会」は町の大会から
含め第44回を数え全国各地から大

勢の皆様が来町いただき特産品も
売り切れる等大いに楽しんでいた
だいております。

風力発電につきましても次のス
テップとして、風力水素ガスの実
証実験などを進め、町内循環型エ
ネルギーの構築や雇用の創出を目
指します。

豊かな自然や景観、郷土を愛す
る人びとは、本町が誇るべき資源
であり宝であります。これからも、
町民が誇りと希望をもって暮らせ
るよう、「人が輝き、躍動するま
ち苫前町」の具現化に向け全力を
尽くしてまいります。

この新しい年が皆様にとりまし
てより佳き年となりますことご祈
念申し上げ、念頭のご挨拶とさせ
ていただきます。



新年のごあいさつ

苫前町議会議長 阿部 俊一

新年あけましておめでとつ(ごいさつ)です。新たな抱負を胸に新春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから町議会に対する深いご理解と格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。平成29年の念頭に当たり、苫前町議会を代表して町民の皆さまに謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

町議会は、平成27年5月の改選から現在の議会構成となり2回目の新年を迎えました。今年は、折り返し後半2年のスタートの年であり、私ども町議会が住民の代表機関として、地域の実情に応じたまちづくりや行政への監視機能を十分に発揮するため、これまで以上に、議員活動をより積極的に展開していくことが求められていると感じております。

昨年を振り返ってみますと、リオデジヤネイロ五輪で日本人選手が大活躍し、日本中が感動と喜びに大いに沸いた年でした。しかし、熊本地震や相次ぐ台風の襲来によって、改めて自然災害に対する備えの大切さを痛感させられた年でもありました。このような中、本町では、8月1日の局地的集中豪雨によって、農業被害や土砂災害が発生しました。いつ災害に見舞われるかわからない今日、常日頃から災害対策には万全を期しておく必要があり、今後とも災害に強いまちづくりに議会としても、最善の努力をして参る所存です。

一方、世界の状況に目を向けますと、各地でのテロの発生や、増大する難民・

移民への対応等、問題が山積するなか、米国大統領が新年早々に交替をいたしました。大統領選後に「トランプ・シヨック」が世界を駆け巡ったことは記憶に新しいところですが、米国新政権の動きを注意深く見守る必要があるものと存じております。

さて、本町においては、70億円を超える一般会計予算を編成し、苫前小学校や苫前保育園の建て替え、穀類乾燥調製施設の着工など、未来に向けた大型事業に積極的に取り組んでいます。今後とも国の地方財政計画の流れを敏感に読みながら、社会情勢変化による様々な行政課題に的確に対応し、継続的で安定した行政運営の実現に向け、なお一層気を引き締めて参る所存です。さらに、人口減少対策、高齢者対策、子育て支援の推進、防災対策、産業振興対策などの喫緊の課題がもたらす様々な不安払拭のため、各般にわたり、バランス感覚を持った議論を通じて、重点的、効果的な施策の展開が求められています。議会としても、これらの山積する課題に立ち向かいながら、まちづくりの主役は町民の皆さまであることを第一に考え、住みよいまちづくりのために、全力を尽くして参ります。町民の皆さまには、今後も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さま方のますますのご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

本年も宜しくお願ひします



議長 阿部 俊一
副議長 福士 敦朗

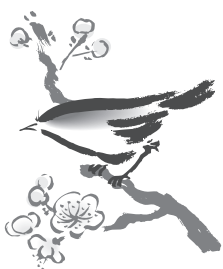
総務産業常任委員会

委員長 田沢 収
副委員長 伊藤 通康

伊藤 まち子
間宮 英明
村本 隆
磯崎 功

議会事務局

事務局長 成川 敬
書記(併任) 宮前 伸之
戸川 恵介



我が子・孫のお遊戯に成長を実感! ~苫前保育園・古丹別保育所でおゆうぎ会~

苫前
保育園

11月12日(土)



古丹別
保育所

11月20日(日)

公民館講座「カラーセラピー」～色の効果について～



11月23日(水)町公民館図書室において公民館講座「カラーセラピー」が開催された。カラーセラピーとは色彩の持つ心理的効果を学ぶもので、色の選択が人格や心の状態がみえててくるといふもの。

講師のあびる a u (旭川市)で教室を開いている建部久美子さんは、カラーセラピー以外にもハーブティコーディネーターとしても活躍している。

赤は強いエネルギーをイメージする色で、やる気、元気、自信をアピールする時に好まれるなどそれぞれの色が持つ特性について、参加者は真剣に聞き入っていた。

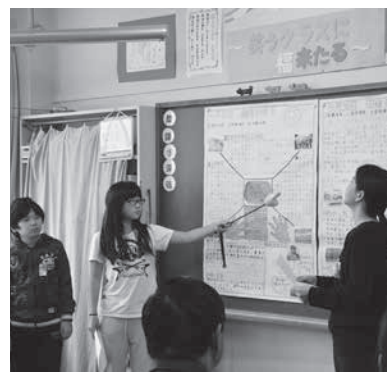
お米についてより深い学習を ~学社融合事業稲作発表会~

12月1日(木)苫前小学校(堀井理校長)で5年生8名による学社融合事業の稲作発表会が行われた。

この事業には、圃場の提供や各事業で講師を務めた花井秀昭さんをはじめ、農業普及センターや留萌地区農業共済組合中部支所職員なども参加し行われ、4月の初まきから田植え、生育調査、稲刈りの体験を元に、図書やインターネットを使い、より深い内容を調べ4グループに分かれ発表した。

グループ発表では「お米ができたときの農家の人たちの喜びや農作業の大変さが分かりました。お米を大切に食べたい」と話した。

花井さんからは「よく調べてくれました。これから地元のお米をどんどん食べてください」と述べた。



夢のケーキで最高賞受賞 ~古丹別在住の平野愛実ちゃん~



洋菓子メーカーの銀座コージーコーナー(東京)主催の「夢のクリスマスケーキコンテスト2016」で古丹別在住の平野愛実ちゃんのイラスト作品が最高賞のグランプリを受賞した。

12月4日(日)に東京で行われた受賞式には、父母や祖母と一緒に出席、女優の土屋太鳳さんと一緒に作品をもとに作られたケーキを試食した。

愛実ちゃんは絵を描くことが大好きで、動物園に行くと動物をスケッチしたり、食事の時間でも夢中になるとご飯が遅くなったりするとか。同コンテストへの応募は、お母さんがインターネットで募集したことがきっかけだった。

今回の受賞について愛実ちゃんは「自分の書いたイラストがケーキになってうれしかった」と語った。

鏡もちづくりに奮闘！ ～苫前保育園でのお餅つき会～

12月1日(木)に苫前保育園(青木久美子園長)恒例のお餅つき大会が行われ、全園児が体験した。

お餅つきではホールに飾る一升餅と、みんなでこねて、ミカンや水引、扇などの飾りを折り紙でつくるミニ鏡餅をつくった。

青木園長からは「お餅はお祝い事や特別な日につくものです。新しい年を無事にむかえられるよう一生懸命お餅つきをしましょう」と述べた。

園児たちは、「ヨイショ」と大きな声を張りあげ、お餅がだんだんとやわらかくなる様子を見ていた。出来あがったお餅は、白い粉が園児服にかかっていることも気にせず、先生方がつくるミニ鏡餅を見よう見まねで丸めていた。



松岡満雄さんに厚生労働大臣表彰



社会福祉の増進に貢献したとして松岡満雄さんが厚生労働大臣表彰を受け、12月2日(金)役場町長室で伝達式が行われた。

松岡さんは、昭和55年から平成16年まで古丹別保育所を運営する社会福祉法人古丹別福祉会の幹事を務め、同年6月に理事長に就任し現在に至っている。

受賞にあたり森町長からは「人格者でなければなかなか受章できず、多くの実績をつくられた。これからも健康で元気に続けてほしい」と喜んだ。

松岡さんは「名誉な賞に感謝したい。長い間、役員をさせていただいたが、適正な運営と健全な経理の執行に努めてきた。苦勞をかけた妻にこの表彰状を見せやりたかった」としみじみ語っていた。

町社会福祉協議会に寄附

12月2日(金)に曹洞宗北海道第3宗務所第1教区青年会禅真会(野村宣英会長)による歳末助け合い托鉢修行で集めた浄財を、町社会福祉協議会へ寄附した。

禅真会は、増毛町から宗谷管内幌延町にある曹洞宗の寺院の若手住職・副住職による青年会。托鉢修行は、心を合わせ、掌を合わせ、善意の輪を広げようと毎年この時期に行っている。

野村宣英会長は「この浄財はみなさんの善意でいただいたもの、町の活動に使ってください」と述べた。



平成28年最後の決戦！ ～第42回平井杯争奪剣道大会～



(個人戦) 各部1位のみ掲載

- 小学2年生以下の部
佐井 暖 来
- 小学校3・4年生の部
山口 太 雅
- 小学6年生・中学女子の部
竹橋 光 雅
- 中学生男子の部
竹橋 稜 雅

(団体戦)

西軍(5勝2敗3分け)

12月4日(日)にスポーツセンター1で町剣道連盟(三上敏行会長)主催の第42回平井杯争奪剣道大会が開催、町内の少年団員が熱戦を繰り広げた。

小学校低学年から中学生までの4部門及び東西対抗戦が行われ、参加した剣士らは平成28年の最後となる大会で、気合いの声と見守る保護者の声援が響き渡り息詰まる攻防が繰り広げられていた。

結果は次のとおり。

健康ばんざい

「COPDと禁煙」

今月の担当は新田保健師長です

COPDとは？

COPDとは、閉塞性肺疾患と言われ、たばこなどの有害な空気を吸い込むことによって、空気の通り道である気道（気管支）や、酸素の交換を行う肺などに支障が生じる病気です。空気の出し入れがうまくいかなくなるので、通常の呼吸ができなくなり、息切れが起こります。

この病気の患者数は、我が国では40歳以上で500万人と推計されていますが、実際に治療を受けている方は22・3万人と、言われているに1人しか治療を受けていないこと、95%以上の人が診断を受けていない又は他の病気と診断されている状況にあります。

Q COPDの症状とは？

- ①せきやたんが続いている
- ②階段の上り下りで息切れがする
- ③風邪が治りにくく、せきやたんが出る
- ④喘鳴（ぜいめい。呼吸の

たびにゼーゼー、ヒューヒュー）がある。

Q 主な原因は、たばこ？

COPDは肺の生活習慣病とも呼ばれ、主に喫煙者や喫煙歴のある人に多い病気です。40歳以上で喫煙歴のある方は要注意です。

Q COPDの治療法とは？

①禁煙、②インフルエンザワクチン接種、③肺炎ワクチン接種、④薬物療法となります。他に吸入や在宅酸素療法などもあります。

COPDに思い当たる症状のある方は、**早期に医療機関を受診し、早期診断・早期治療により進行を抑える**ことができますので、おかしいなど思ったら我慢せずに受診しましょう。

Q たばこの害って？

肺がん以外にもニコチンの血管収縮作用で、心臓病や脳卒中などを引き起こす危険が高くなるほか、糖尿病に約1.4倍かかりやすくなるというデータもあり、歯周病、老化促進などさまざま

まな問題を引き起こします。

Q 吸う人だけの問題？

喫煙者がフィルターを通して吸う煙よりも、たばこの先から出る煙の方が有害物質の濃度は高いことが立証され、**受動喫煙の防止**健康増進法では、室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わせることをいう。）が重要です。

たばこによる健康被害は、喫煙者だけの問題ではありません。

血圧を上げ、心臓の負担を増す作用があるニコチンは約3倍、発がん成分を含むタールは約4倍、動脈硬化や心臓病などを促進する一酸化炭素は約5倍も高くなり大切な家族や周囲の人の健康を脅かしているのです。

Q 禁煙するためには？

喫煙者の多くのたばこをやめにくくしているのは、程度の差はあるもののニコチン依存があるためとされています。禁煙外来や禁煙補助剤を使用すると、ニコチン切れの症状を抑えることができますので、自力で行

うよりもラクに、3〜4倍禁煙に成功しやすくなります。健康保険の適用基準を満たしていれば、1日20本のたばこ代に比べ、1/3〜1/2の安い費用で医療機関での禁煙治療を受けることができます。

禁煙効果！体はこう変わる

20分で	血圧が正常になる
24時間で	心臓発作の可能性が少なくなる
48時間で	味覚と嗅覚が回復
48時間〜72時間で	ニコチンが体から完全に抜ける
2〜3週間で	血行改善し呼吸も楽になる
5年で	肺がんになる確率が半減する
10年で	他のがんにかかる確率も減る

「たばこをやめたんだ。吸う場所探しをしなくて気持ち楽になった。」と言う声を聞くようになりまし。また、禁煙し血圧が正常化した方もいますので、御自身や周りの方のために禁煙に取り組みましょう。

あなたの献血で救われる命があります



輸血で使用される血液は人工的に造ることができず、長い間保存ができません。献血は16歳からできますが、高齢化の影響で輸血を必要とする高齢者層が増加し、10代〜30代の献血者が減少しています。このまま推移すると北海道では2025年には5万人不足するといわれています。

今後も患者さんに血液を安定的に届けるためには、今まで以上に若い世代の献血へご協力が必要となります。また、医療機関からは副作用が少ない400ml献血が特に求められています。皆様のご協力をお願いします。

次回の献血車来町は平成29年2月9日（木）です。

※詳細は後日回覧でお知らせします。

	200ml		400ml	
	年齢	体重	年齢	体重
男性	16〜69歳	45kg以上	17〜69歳	50kg以上
女性	16〜69歳	40kg以上	18〜69歳	50kg以上

苫前町献血推進協議会 TEL：64-2215
(事務局 保健福祉課)